

序

レジデントノート2020年1月号の特集で、「心不全診療で考えること、やるべきこと」をテーマに企画させていただきました。研修医が知っておくべき基本から変わりゆく心不全の最新情報まで、時間軸で考える心不全診療をコンセプトに、心不全の臨床現場の第一線で活躍している先生方に執筆を依頼しました。おかげさまで大変好評であったようで、このたび、2021年の増刊号として、企画・編集などがかかわることができ、改めて大変嬉しく、感謝申し上げます。

さて、この数年で、心不全の新薬が続々と登場し、研修医が知っておくべき心不全に関する内容がさらに増えました。本書では、前回の企画でページ制限から入れることができなかつた内容だけではなく、新規項目も追加して充実させましたので、さらに心不全に興味をもってもらえたらと思います。心不全における時間軸を理解しておくことは非常に重要で、これは研修医が特に携わる急性心不全だけではなく、外来管理でいかに再入院を予防するか、また慢性心不全の緩和ケアなどにおいても時間軸を考慮しながら対応する必要があります。そのためには先を見通し、先手先手で次の方針を決めていかなければならず、心不全患者個人に対して多岐にわたり評価することが求められるため、“個”の力に頼った医療体制では限界があり、個の力を十分発揮できるような“組織”の力が必要です。

今回原稿を依頼した先生方は、U40心不全ネットワークで活躍している若手医師が中心となっており、大学病院だけではなく、一般病院や循環器専門の施設に所属されています。また心不全だけではなく、虚血や不整脈が専門の先生もいらっしゃいます。このレジデントノートの読者からも心不全のニューリーダーになるべき若手循環器医が一人でも増えることを期待しています。将来、循環器内科、心臓血管外科や救急医をめざす研修医はもちろん、循環器内科をローテーションする研修医、新専門医制度の内科専攻医、循環器内科の若手の復習と情報のアップデートとして、本誌がお役に立てたら幸いです。

【U40心不全ネットワークについて】

2013年に設立された、心不全に興味がある日本の40歳以下の医師のグループで、心不全診療の基礎的教育ならびに臨床研究を推進し、次世代における心不全の診断および治療の発展、またより患者さんに向けた医療の提供に貢献することを目的として、日本心不全学会、日本心臓リハビリテーション学会、日本循環器学会、日本心臓病学会などの学術集会で特別企画や多施設共同研究 (REALITY-AHF, ILLUMINATE-CS)などを運営しています。

また、幹事主導でHeart Failure Fellow Courseを年1回開催しています。2020年はCOVID-19の影響で一度は中止しましたが、2021年に初のweb開催として復活しました。

今回、本誌の執筆を担当した多くがU40心不全ネットワークの関係者であり、本グループは心不全に興味がある40歳以下の医師であれば参加可能です。このレジデントノートの読者からも参加申し込みをお待ちしていますので、ホームページなどをご覧ください。

ホームページ：<https://u40hf.com/>

Facebook：<https://www.facebook.com/groups/214579045382206/>

Twitter：<https://twitter.com/U40HF>

また、2017年8月には、広く一般市民に対する心不全に関する啓発および心不全に関する若手医師の研修・交流ならびに心不全に関する研究等の事業を行い、心不全への理解を深め、予防や発症後の対策等に役立てるとともに、心不全の新たな治療を確立し、ひいては国民の健康に寄与することを目的として、NPOも設立しました。U40心不全ネットワークの継続的な活動をサポートし、今後のさらなる発展に期待しています。

<https://www.npo-homepage.go.jp/npoportal/detail/106000463>

2021年8月

聖マリアンナ医科大学 薬理学
木田圭亮